

IPM実践指標(モモ)

管理項目	管理ポイント	点数	チェック欄		
			昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況
共通項目	圃場その周辺の管理	圃場周辺の雑草や害虫の寄生植物(ナシヒメシキイ:核果類)を除去し、病害虫や雑草の圃場内への侵入を防止する。	1点		
	被害部位の除去	せん定時などに発生源となる病害虫の被害枝葉、被害果および落葉等は集めて処分する。	1点		
	土づくり	完熟堆肥の施用や、緑肥作物のすきこみによる土づくりを行い、病気に掛かりにくい強健な作物栽培に心がける。肥料は、樹勢や樹齢等を考慮して分施する。	1点		
	排水対策	排水が悪い圃場は暗渠排水の設置、通路や排水口を整備するなどの改善を行う。	1点		
	植付時期	健全な苗木を植え付け、幼苗期に、極端に寒い時期には、こも等で防寒をしたり、防風対策を行う。	1点		
	栽植密度	細部まで光が届くように適正な樹間を保つとともに、整枝、剪定を行い、通風をよくする。	1点		
	発生予察情報等の活用	病害虫防除所の発生予察情報等を参考にするなど、病害虫の発生動向を注視し、防除計画を作成する。	1点		
		フェロモントラップを設置し、害虫の発生動向を把握することで防除の要否、施用時期の判断をする。	1点		
		近隣の作物や雑木、畦畔の雑草での病害虫の発生状況を確認し、圃場での発生を予測するなどの判断材料とする。	1点		
	作物の観察	病害虫の発生状況を観察し、発生初期に薬剤散布を行うなど効果的な防除を行う。また発生が極めて少ない場合は捕殺や抜き取りを行う。	1点		
	地域での防除	地域で防除農薬や防除時期について検討し、一斉防除をおこない、病害虫の密度をさげる。	1点		
	土着天敵の確認	化学農薬を使用する場合は、その使用前で最低1回はクモ等の当該地域に通常生息している天敵類の発生状況を確認する。	1点		
	農薬の使用全般	樹齢や植栽密度などを勘案して、十分な薬効が得られる使用量と最適な散布方法を検討する。	1点		
		農薬散布を実施する場合には、隣接して栽培する作物への飛散防止がないよう適正な措置を講じる。	1点		
		薬剤感受性の低下を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。	1点		
個別項目	作業日誌	病害虫・雑草の発生状況、農薬を使用した場合の農薬の名称、使用時期、使用量、散布方法等のIPMIに係る栽培管理状況を作業日誌として別途記録する。	1点		
	研修会等への参加	県や農業協同組合が開催するIPM研修会等に参加する。	1点		
	縮葉病	防除適期を逸しないように萌芽・発芽状況等の生育状況を観察するとともに発生に注意し、適期防除に努める。	1点		
	せん孔細菌病	防除適期を逸しないように生育状況を観察するとともに発生に注意し、適期防除に努める。	1点		
		強風対策として防風ネットや防風垣を設ける。枝が二度伸びしないように肥培管理に注意する。	1点		
	黒星病	防除適期を逸しないように萌芽・展葉状況等の生育状況を観察するとともに発生に注意し、適期防除に努める。	1点		
	灰星病	防除適期を逸しないように開花期、収穫20日前～収穫直前(感染期)に発生に注意し、適期防除に努める。	1点		
	うどんこ病	防除適期を逸しないように初発生の5月中旬頃の発生に注意し、適期防除に努める。	1点		

IPM実践指標(モモ)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄		
				昨年の 実施状況	今年度の 実施目標	今年度の 実施状況
個別項目	胴枯病	枝幹の切り傷や日焼けなどからの病原菌の侵入を防止するために塗布剤等で保護する。	1点			
	ホモプシス腐敗病	4-5月頃に発せする新たな枯れ枝を剪除するとともに、防除適期を逸しないように発生に注意し適期防除に努める。	1点			
	白紋羽病	罹病程度の激しい樹は細根まで抜き取り、跡地に山土または水田の土を客土する。また、軽症樹は着果数を減らし、重症樹は着果させないように結果枝をせん除する。	1点			
	ナシヒメシンクイ	交信かく乱剤を設置し、発生密度の抑制を図る。	1点			
	クワシロカイガラムシ・ウメシロカイガラムシ	発生に注意し、越冬世代が見られる場合は、冬期にマシン油剤を散布するとともに、第1世代発生期(5月上中旬)に防除する。	1点			
	モモハモグリガ	交信かく乱剤を設置し、発生密度の抑制を図る。	1点			
	アブラムシ類	発生状況に注意し、発生初期に薬剤防除を行う。	1点			
	カメムシ類	発生状況に注意し、発生初期に薬剤防除を行う。	1点			
	ヤガ類(果実吸蛾類)	防蛾灯または防虫ネットを設置し、ヤガ類の被害を防ぐ。	1点			
	コスカシバ	交信かく乱剤を設置し、発生密度の抑制を図る。	1点			
	クビアカツヤカミキリ	成虫発生前に寄生された幹、枝に対して防虫ネットを被覆する。	1点			
	ハダニ類	初秋に誘引バンドを太えだに設置し、誘引されたハダニを冬期に殺処分する。また、冬期にマシン油剤を散布する。	1点			
			合計 点数			
			対象 IPM計			
			評価結果			